

① 教育行政について

子どもたちの教育環境も大幅に転換の時期を迎えつつあるなか、今年4月より外国語活動の授業時間が段階的に増え2年後の2020年には教科となります。又、道徳の授業も今年4月より教科に追加されます。英語でコミュニケーションを取れることは、これからの次世代を担う子供たちにとって、世界的活躍するための必須条件であり、長与のグローバルな子どもの成長が期待されるところであります。本町では、昨年より英語の新規事業の取組みも開始されました。そこで事業の取組み状況や今後の英語や道徳授業の計画についてお伺いします。又、子どもたちの就学援助制度の充実についての質問も合わせてお聞きします。

- (1) 今後の英語の授業のカリキュラムと取組み状況はどうなるのか。
- (2) 外国語活動から英語授業導入についての今後の課題は何かあるのか。
- (3) 先生方の英語の授業研修の取組みと今後の対応についてはどうか。
- (4) 長与町国際コミュニケーション活動の取組みと成果はどうだったのか。
- (5) 道徳の授業のカリキュラムと今後の課題についてはどうか。
- (6) 就学援助制度の現状はどうなっているのか伺う。

② 子ども医療行政について

働いている親御さんたちのために病気に罹患した子どもたちを預かる、病児保育事業（さくらっこルーム）が開設され、これまでかなりの利用がなされてきました。しかし、やむなく昨年4月より病院の諸事情により閉鎖されたため、子どもと親御さんたちの行き場がなくなっている状態です。病児保育事業のその後の経過と状況についてお伺いします。

- (1) 閉鎖され約1年経過するがその間の対応はどうしているのか。
- (2) 親御さんたちからの開設の問い合わせは続いているのか。
- (3) 開設できるまでの新たな代替案があるのかどうか。
- (4) 施設の開設時期はどうなっているのか。今後の対応策と問題点は何か伺う。